

カミュと生きる

ヴァンサン・シアノを迎えて



日時：2014年12月18日（木）15時10分～

場所：関西学院大学上が原キャンパス文学部・新館3F大会議室

講演言語：フランス語（通訳あり）

入場無料・予約不要

主催：関西学院大学文学部仏文専修

カミュ

と生きる

フランス人演出家 ヴァンサン・シアノ を迎えて

ヴァンサン・シアノ (Vincent Siano)

フランス人演出家・役者。

1953 年、イタリア生まれ。9 歳のときフランスに移民。17 歳から公共団体で演劇を通じて教育と地域活性化に協力。

1979 年、TRAC (Théâtre Rural d' Animation Culturel 地方文化振興劇団) を南仏アヴィニョンの北 35 キロにある小さな村ボヌ・ドウ・ヴニーズに設立。

地元の若者を中心にアマチュアの役者を指導し、フランスのみならず世界 24 カ国をまわり、100 本以上の芝居を上演している。

ヴァンサン・シアノとアルベール・カミュ

シアノ氏は高校時代にカミュの作品と出会い感銘を受け、演劇人となってから、短編集『追放と王国』に収められた「客」、「もの言わぬ人々」および遺作『最初の人間』を翻案・上演した。

2013 年のカミュ生態 100 年を記念して、2009 年から 4 年をかけて、カミュの書いた 5 つの戯曲（『アストゥリアスの反乱』、『カリギュラ』、『誤解』、『戒厳令』、『正義の人々』）すべてを演出・上演。

その演出は、『戒厳令』に登場する独裁者ペストを女性に変えて SM の女王風の衣装を着せたり、『カリギュラ』のエリコンを大男と小男ふたりに二人羽織状態で演じさせたり、つねに大胆かつ斬新である。

日時：2014 年 12 月 18 日（木）

15 時 10 分～

場所：関西学院大学上ヶ原キャンパス 文学部・新館 3F 大会議室

講演言語：フランス語（通訳あり）

入場無料・予約不要